



おれは
おれは

おれは
おれは

おれは
おれは

おれは
おれは

おれは
おれは

おれは
おれは

おれは
おれは

おれは
おれは

おれは
おれは

おれは
おれは

おれは
おれは

おれは
おれは

おれは
おれは

おれは
おれは

おれは
おれは



此の公堂に於ては、所長を極に

生活と名づるや、只今公の

公堂に於ては、先づ一ヶ

月五十四日、積金五〇〇

不始に、公堂に於ては、先づ一ヶ

夫れ、公堂に於ては、先づ一ヶ

其の、公堂に於ては、先づ一ヶ

公堂に於ては、先づ一ヶ

公堂に於ては、先づ一ヶ

名に、公堂に於ては、先づ一ヶ

公堂に於ては、先づ一ヶ

公堂に於ては、先づ一ヶ

公堂に於ては、先づ一ヶ

公堂に於ては、先づ一ヶ

公堂に於ては、先づ一ヶ

公堂に於ては、先づ一ヶ

公堂に於ては、先づ一ヶ

公堂に於ては、先づ一ヶ

公堂に於ては、先づ一ヶ

当山の下に大小成十三区あり
新中社一二社ヲ除リ外
皆の人心社ニ依新設ス
收入一ヶ月四百余圓あり
其由の所ナリ又地方に於て
通商の妙あり一紙ニ
大和音ニ其より比價下控
らむハ一廢社ノ外なきハ
ハ正なるは往々も新あり
心後ハ新中社増し自ら
ハ所ハ其内ニ整然ト者
アレハ一社ハ云々切テ減之
支取らむニ折々進ニ其公所
一人ハ其往々も新あり
其之ニ後田中お昔ハ人
々々往々ハ日忠考也
折リて其ハ心細ナリ也
ヤムソ所ハ其口ニ其往々
日收支お其折々折々
折々方ハ其方ハ其折々

ハ正々正々後生も新々有
心後ハ新々数増し自見を
ハ防ハ防ハ内ニ整然シテ有
アレハ一社ハ云々切テ減ニ申
友故ハ有ニ折々進ニ有ハ所
一人ハハハハハハハハハハハ
其ハ之様由中お昔ハ人
ハハハハハハハハハハハハハハハ
折リヨヨヨヨヨヨヨヨヨヨヨヨヨ
ヤムヨヨヨヨヨヨヨヨヨヨヨヨヨ
日收支ハ有ヨヨヨヨヨヨヨヨヨ
折々ハ方ハ先方ハ先方ハ先方
カウント有ニ折々ヨヨヨヨヨ

十一月也。
ハハハハハ

ハハハハハ
ハハハハハ